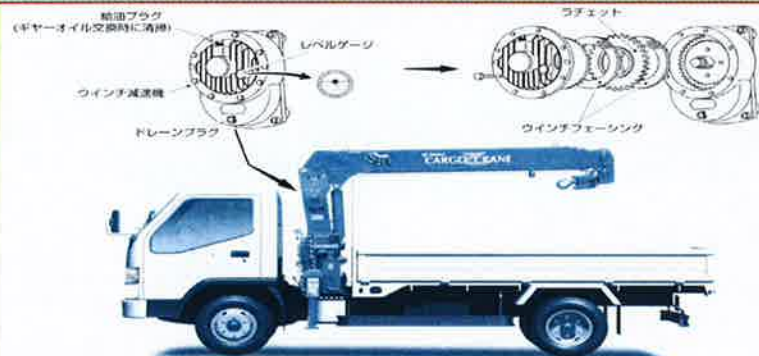


クレーンニュース カーゴクレーン ウインチ減速機のフェーシング定期交換について

ウインチ減速機のフェーシングは、吊荷を保持するブレーキとなる重要な部品です。長期間使用していると、フェーシングおよびギヤオイルが経年変化で劣化してブレーキ能力が低下します。ブレーキ能力が低下すると吊荷が滑ったり、最悪の場合は吊荷が落下する恐れがあり危険です。フェーシングは消耗部品です。必ず、定期的な交換をお願いします。
※フェーシングとは、芯金（鉄板）の両面にペーパー摩擦材を貼り付けたものです。



《交換のめやす》

フェーシング

3000 時間もしくは 3 年の
いずれか早く達した時点

ギヤオイル

1000 時間もしくは 3 年の
いずれか早く達した時点

建機ニュース

冬場のメンテナンスについて

これから寒くなってきますが、冬場になると発生する機械のトラブルとしまして、ラジエーターの破損があります。これは、ラジエーター水には腐食や凍結防止の役目をする不凍液が入っていますが、これが古くなっていたり、水だけしか入っていない場合に、ラジエーター水が凍結するからです。

また、燃料タンク内に水がたまっていると、燃料と混ざって燃料ホースやパイプ内で、朝 燃料の中の水分が凍結し、エンジンが始動できなくなることがあります。寒くなる前に、ラジエーター水の点検や、タンク内の水抜き（タンク底に水抜きプラグがある）を実施して、冬場のトラブルを防止しましょう。

担当 若林



※ クレーン等安全規則第76条の年次検査は、1年毎に必ず実施してください。

車検ニュース

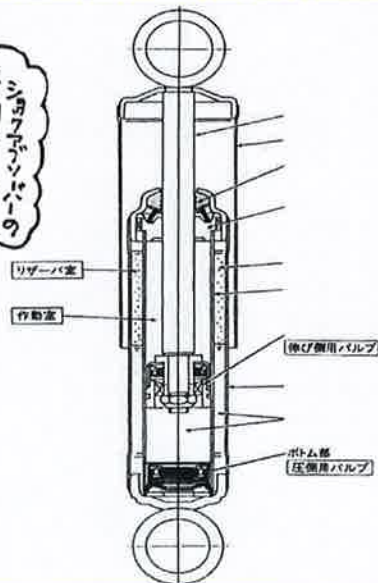
担当 中島

自動車の仕組み(ショックアブソーバー)

ショックアブソーバーの寿命は車の寿命と同じだけ長ければ良いのですが、車より短いというのが現状です。ショックアブソーバーの寿命は日本ではあまり気にかけられていませんが、走行すれば当然劣化して減衰力が低下します。劣化の状態は当然のことながら使用条件やショックアブソーバー自体の特性によっても大きく変化します。

平均的に見て寿命は 4~50,000km 程度とされていますが、30,000km あたりから劣化が感じられるようになります。同じ車に乗り続けているとなかなか劣化の状態がわかりにくいのですが、新車と比べると違いがはっきりしますから、劣化が目立ってきたところで交換すると、新車当時の乗り心地と操縦安定性に回復しますよ。

担当 藤森



編集後記

まるぐちニュースの第1号が昨年の10月に発行されて、丸一年が過ぎました。第1号のニュースは、“白黒”でかなり寂しい雰囲気でしたが、第2号からは“カラー”印刷になって、色鮮やかな紙面が作れるようになりました！！

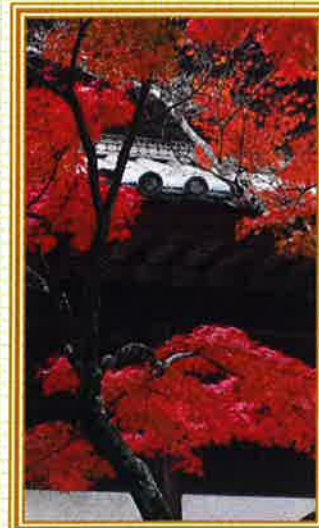
さて 昨年の紅葉は奥津温泉を紹介しましたが、今年もまた紅葉の季節の到来です。今年は総社の宝福寺等はいかがでしょう・・・？

これからも、各部門の担当者から情報を発信して参りますので、末永くお付き合い下さい。 担当 八木

雪舟で有名な総社の井山宝福寺とは

宝福寺は臨済宗東福寺派の寺院で、本山京都東福寺と結びつきが強く、地方の中でも有力な禅宗寺院です。古くは天台宗の寺院でしたが鎌倉時代中頃に県内ではいち早く臨済宗に改宗しました。盛時には塔頭・学院五十五、山外の末寺三百余を数えたと言われています。

水墨画で有名な雪舟は、応永 27 年備中赤浜（現岡山県総社市赤浜）に生まれました。幼くして井山宝福寺（総社市井尻野）へ入り、涙でネズミを描いたという逸話を残しています。



宝福寺の紅葉は見事・・・！！